

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
18						グループウェア（院内ポータル）	
18	1	1				統合認証	
18	1	1	1			統合認証機能	
18	1	1	1	1		医療情報システムの利用者セキュリティ（二要素認証）の認証により、ポータル画面が起動できること。	○
18	1	1	1	2		起動者、起動した端末、起動したシングルサインオン対象システム、日時などの情報をログ出力できること。	○
18	1	1	1	3		利用者をグループごとに分けて管理できること。	
18	1	1	2			シングルサインオン機能	
18	1	1	2	1		院内ポータルから医療情報システムを起動できること。	○
18	1	1	2	2		業務アプリケーションにシングルサインオンでログインできること。	○
18	1	1	2	3		I Dやパスワードの引渡し方法については複数の方法で行うことができること。	○
18	1	1	2	4		職種ごとにシングルサインオンする対象システムの表示、非表示を設定ができること。	○
18	1	1	2	5		端末ごとにシングルサインボタンに表示するシステムを制限できること。	○
18	1	2				利用者マスタ連携	
18	1	2	1			利用者マスタ連携機能	
18	1	2	1	1		医療情報システムからグループウェアへ利用者マスタ連携ができること。	○
18	1	2	1	3		利用者情報は世代管理ができること。	○
18	1	2	1	4		利用者情報は有効期限の設定ができること。	○
18	1	2	1	5		利用者情報の入力項目は30以上あり、麻薬施用者、免許、資格番号などを管理者側で項目を自由に設定できること。	
18	1	2	1	6		連携するシステムごとに連携項目の範囲を設定できること。	
18	1	2	1	7		上位システムなどから利用者情報を取り込む機能を有すること。	○
18	2					院内ポータル	
18	2	1				ポータル機能	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
18	2	1	1			お知らせ情報、ナレッジポートレット、本日のトピックス情報、特定のフォルダ上に格納されているhtmlコンテンツの内容をポータル上のポートレットに表示できること。お知らせポートレットには、タイトルだけでなく本文情報の一部も登録し表示できること。また、ポートレット上のクリップアイコンをクリックすることでダウンロードファイルを表示、保存できること。	
18	2	1	2			ユーザ検索、ナレッジ検索のポートレットが表示できること。特定のナレッジフォルダを表示できるポートレットの表示ができること。その際3階層まで表示できること。	
18	2	1	34			スケジュール、行き先掲示板、T o D o リストの指定した内容をポートレットとして表示できること。	
18	2	1	5			個人単位にお気に入りURLを登録でき、シングルサインオン用のID情報を登録できること。	
18	2	1	6			特定サイトで公開されているRSS情報を読み込み、最新記事を表示できること。	
18	2	1	7			最新情報ポートレットにより、お知らせ、ナレッジ、院内メール、新着スケジュールの各機能をまとめて1つのポートレットで確認することができること。	
18	2	1	8			全文検索ポートレットにより、ナレッジ（お知らせ）本文及びMSWord、Excel、PowerPoint、PDF、テキスト形式の添付ファイルの内容に対して検索ができること。また、院内メール本文の検索も可能なこと。	
18	2	1	9			ユーザ検索、ユーザ・部署情報管理画面で連絡先（内線、外線、携帯電話）による検索ができること。	
18	2	1	10			テキスト入力、範囲選択時に右クリック機能が利用できること。	
18	2	2				スケジュール管理機能	
18	2	2	1			個人単位、グループ単位にスケジュールが表示できること。月、週、日単位で表示できること。	
18	2	2	2			グループは、部署一覧、グループのリストの中から個人選択し表示できること。	
18	2	2	3			スケジュールの登録は、日単位、時間単位で入力できること。入力した内容は、自分以外は詳細が見えないように非公開にできること。	
18	2	2	4			繰り返し行われる定期的な予定を毎日、毎週、毎月単位で入力できること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
18	2	2	5			登録したスケジュールは所在と連動するかを選択できること。	
18	2	2	6			スケジュール登録と同時に複数の施設・備品の予約ができること。予約の際は、各施設・備品の空き状況を○×で確認できること。	
18	2	2	7			スケジュール登録と同時に他のメンバのスケジュール登録ができること。登録の際は、部署、グループ、ユーザ名により検索したメンバを、空き状況で○×で確認できること。また、登録者にスケジュール登録した旨を通知できること。	
18	2	2	8			登録したスケジュールの既定時間前にはE-MALL(外部メール)で確認通知できること。	
18	2	2	9			時間の指定はドラッグ&ドロップに対応できること。	
18	2	2	10			スケジュールはCSV出力できること。	
18	2	2	11			ポータル画面にスケジュール専用のポートレットに新着情報を表示できること。当日以外に指定日より1週間分のスケジュールを状態とともに表示できること。	
18	2	2	12			他メンバからの登録は仮登録とし、登録したメンバにコメントを返信できること。	
18	2	2	13			スケジュール週間スケジュール画面、スケジュール1日スケジュール画面から印刷専用画面を起動し、印刷ができること。	
18	2	2	14			自分以外のユーザによるスケジュール変更・削除をできないように設定できること。	
18	2	2	15			一括登録したスケジュールに対して、登録したスケジュールを一括更新・削除、または、個別更新・削除可能なこと。	
18	2	3				座席表機能	
18	2	3	1			座席は、在席、休暇、外出、空席など色分け表示できること。所在名は管理者が事前に設定できること。	
18	2	3	2			ドラッグ&ドロップで空席に移動することにより簡単に座席の移動ができること。	
18	2	3	3			各座席には、スケジュール、所在変更、伝言送信、ユーザ詳細情報のアイコンが配置され各機能と連携がとれること。	
18	2	3	4			座席の配置については、通路、固定机など表形式画面で設定でき、複雑な座席レイアウトでも管理者が容易に作成・変更できること。	
18	2	3	5			座席表画面から印刷専用画面を起動し、印刷ができること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
18	2	4				行き先掲示板機能	
18	2	4	1			行き先掲示板には所属する部署やグループメンバーの在席状況や外出先などを表形式で一覧表示できること。表示内容として氏名、所在、行き先、戻り、件名、連絡先、部署、役職が表示できること。	
18	2	4	2			行き先掲示板には、スケジュール、座席表、所在変更、伝言送信、ユーザ詳細情報のアイコンが配置でき、各機能と連携がとれること。	
18	2	4	3			行き先掲示板の所在に表示する項目は、個人ごとに設定できること。	
18	2	5				ユーザ検索機能	
18	2	5	1			部署、役職、氏名、ふり仮名からユーザの検索ができること。氏名、ふり仮名の一部で検索ができること。	○
18	2	6				伝言機能	
18	2	6	1			伝言メッセージが存在すると、アイコンで通知できること。	
18	2	6	2			伝言は、受信メッセージと送信メッセージが表示できること。	
18	2	6	3			受信メッセージは、送信者の氏名、年月日、時間が付与できること。	
18	2	6	4			受信したメッセージを削除することで、送信者の送信メッセージが削除され、既読の確認ができること。受診メッセージに返信ができること。	
18	2	6	5			伝言メッセージを送信する際は、定型文を利用できること。	
18	2	6	6			伝言は、E-MAIL（外部メール）として転送でき、外出先への連絡も可能であること。	
18	2	7				T o D o機能	
18	2	7	1			状況、締切日によりT o D oリストの検索ができること。	
18	2	7	2			他のメンバーへのT o D oへの登録、進捗状況の確認ができること。	
18	2	7	3			作業項目ごとに優先度、進捗状況、進捗率、開始日、締切日を入力できること。	
18	2	7	4			T o D oリスト内は、優先、締切日超過、ログイン者以外による登録がアイコンで表示され視覚的に分類しやすいこと。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
18	2	7	5			進捗状況名は管理者が自由に設定できること。	
18	2	8				施設・備品・公用車予約	
18	2	8	1			日、月、週単位で施設の予約状況を表示できること。	○
18	2	8	2			よく利用する施設はグループ化できること。	
18	2	8	3			繰り返し行われる定期的な予約を毎日、毎週、毎月単位で入力できること。	
18	2	8	4			施設の予約と同時に他のメンバのスケジュール登録ができること。登録の際は、メンバを部署、グループ、ユーザ名により検索し、空き状況を確認できること。	
18	2	8	5			複数の施設を1回の操作で一括予約できること。	
18	2	8	6			施設予約は施設利用者を設定することにより 予約者以外のユーザが予約者の代わりに予約変更することができること。	
18	2	8	7			予約可能最大日数を設定することにより指定期間以降の予約を抑止できること。	
18	2	8	8			施設予約時にメッセージが表示できること。メッセージを利用してシステムで施設予約をする際のルールなどを表示することができること。	
18	2	8	9			施設予約されている施設に対して更新権限のある施設とない施設を色を変更して表示するよう設定できること。	
18	2	8	10			予約済みの施設について、更新権限が無い場合も予約されている施設の詳細な内容を参照することができるよう設定できること。	
18	2	9				院内メール機能	
18	2	9	1			院内メール発信ができること。	
18	2	9	2			開封の確認ができること。また院内メールの開封時間を表示することができること。	
18	2	9	3			新着の院内メールが到着した場合には、ユーザーに周知させるためTOP画面に表示させる機能を有すること。	
18	2	9	4			院内メール本文の文字を装飾可能なこと。	
18	2	9	5			受信した院内メールのTO、CC に表示される宛先登録リンクを利用することでMy グループ登録画面を起動し、よく利用するグループなどを作成することができること。	
18	2	9	6			ユーザ検索、行き先掲示板、行き先掲示板ポートレットの院内メールアイコンから院内メール登録画面の起動を起動することができること。	
18	2	9	7			メールポートレットから新規院内メール登録ができること。	
18	2	9	8			院内メール参照画面から印刷専用画面を起動し、印刷ができること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
18	2	9	9			メールボックス容量警告率の設定が行えること。またメールボックス容量警告メッセージを表示できるよう指定することができること。	
18	2	9	10			院内メール送信エラーの上限値チェックの方法として2 種類の方法から選択ができること。 ・院内メール送信時に上限を超えてしまった場合は院内メールが送信できない。 ・院内メール送信時に上限を超えてしまった場合でも院内メールが送信できる。	
18	2	9	11			院内メール本文のテキストボックス内で選択した文字列に対して、右クリックにてコピー、ペーストが可能なこと。	
18	3					ナレッジ機能	
18	3	1				組織に蓄積された情報を共有し、知識として活用できること。	
18	3	2				ナレッジを誰が見たかの確認できること。（メールの開封確認と同程度の機能を有すること）	
18	3	3				文書はフォルダで管理できること。フォルダ、文書には組織、個人、My グループ（任意に作成したグループ）単位でアクセス権の設定ができること。	
18	3	4				文書のフォルダ移動は、マウスを利用したドラッグ&ドロップで容易に操作できること。	
18	3	5				目的の文書は、フリーワード、更新日、種別などにより検索できること。フォルダ内の文書は、掲載者、更新日、閲覧数によりソートができること。	
18	3	6				文書は非公開の設定ができ、権限の設定によらず登録者のみ表示できること。	
18	3	7				登録した文書には10 個までファイルを添付できること。また1 ファイルは最大20MB の容量が添付できること。	
18	3	8				文書には、関連URL を指定できること。	
18	3	9				文書の公開開始期間、保管期間を日時と期間で指定できること。	
18	3	10				ナレッジを掲載時に、ワークフローによる承認、承認不要の設定ができること。ワークフローは管理者が自由に定義できること。	
18	3	11				ナレッジの本文には、通常入力とリッチテキストが選択できること。リッチテキスト入力を選択すると、文字、画像、表、リンクの設定ができること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
18	3	12				ナレッジの登録の際、編集権限を持ったユーザは、その文書の閲覧状況を表示でき、その一覧をCSVファイルで出力できること。	
18	3	13				ナレッジ（お知らせ）記事を一時保存ができること。	
18	3	14				ナレッジ（お知らせ）記事をリンクができること。	
18	3	15				ナレッジ（お知らせ）記事にコメントを登録することができること。	
18	3	16				ナレッジ一覧・お知らせ一覧の検索結果について記事件名によるソートができること。	
18	3	17				ナレッジ（お知らせ）記事参照画面から印刷専用画面を起動し、印刷ができること。	
18	3	18				ナレッジに対する評価が行え、画面上にて評価状況（評価件数と内訳）が確認できること。また評価状況を含めた一覧情報をCSV出力可能なこと。評価の種類については、6段階まで可能なこと。	
18	4					管理機能	
18	4	1				各操作（登録、更新、参照）に対して期間指定し、操作履歴を採取できること。履歴に対してはCSV形式で出力し、データの二次利用ができること。（参照機能はナレッジのみ）	
18	4	1				認証ログの成功、失敗の履歴を採取できること。履歴は期間指定により採取できること。	
18	4	1				My グループをフォルダ管理することができること。また、My グループを作成する際に、別のMy グループから選択し新たなグループを作成することができること。	
18	4	1				ユーザ・部署情報管理画面でユーザの検索ができること。	
18	5					ファイル管理機能	
18	5	1				利用者情報をもとに、閲覧制限など権限が付与できること。	○
18	5	2				利用者情報をもとに、個人フォルダが自動的に作成されること。	○
18	5	3				ログイン者が閲覧可能なフォルダ以外は表示されないこと。	○
18	6					掲示板（お知らせ）	
18	6	1				院内連絡の強化のため、ログイン時に掲示文書を表示出来ること。	
18	6	2				強制表示機能を有し、全ての強制表示対象の掲示文書を利用者が確認後に業務画面が表示されること。	
18	6	3				掲示文書に対する回答（アンケート）機能を有すること。（確認しました/後から確認します、等）	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
18	6	4				掲示文書の一覧表示機能を有すること。	
18	6	5				掲示文書はマスタメンテナンスにて、掲示形式（お知らせ、アンケート）、強制表示区分、掲示期間、対象の職種、部署を設定可能なこと。	
18	6	6				掲示文書はPDF形式を取り扱うことが可能なこと。	